

福岡県からアジア、世界へ！ワンヘルスの世界的先進地を目指して ～「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」は一つ～

本県議会が議員提案で制定したワンヘルス推進基本条例に基づく取り組みについて、世界的に理解の輪が広がっています。

世界獣医師会及びアジア獣医師会連合の両会長 福岡県議会を表敬訪問



9月1日（金）ラファエル・ラガンス世界獣医師会会長、藏内勇夫アジア獣医師会連合（FAVA）会長及びFAVA執行部の皆様が県議会を訪問され、香原勝司議長、佐々木允副議長をはじめ多くの議員がお迎えしました。

ワンヘルスの取り組みは、今、世界的に広がりを見せており、今年5月に開催されたG7広島サミットでは、国際保健上の脅威に対処するため、ワンヘルスアプローチを適用させることが表明をされました。

そのような中、本県では世界に先駆けて、2020年に議員提案でワンヘルス推進基本条例を制定し、本県をワンヘルスの世界的先進地とする取り組みが着々と進行しています。

今回、世界獣医師会及びアジア獣医師会連合の皆様が来県し、本県議会を訪問され、ワンヘルスについて意見交換が行われました。会談の中で、香原議長は「福岡県では県と県議会が連携をして、積極的にワンヘルスを推進しています。そして、そのような中、台北市で開催された2023世界獣医師会大会において、本県の藏内議員（アジア獣医師会連合（FAVA）会長）が、世界獣医師会のラファエル会長より「ワンヘルス特別賞」を授与されたことを誇らしく感じています。今後も、福岡からアジア、そして世界へ、ワンヘルスを推進してまいります」と述べると、ラファエル世界獣医師会会長（前列左より5人目）は「福岡県の素晴らしい取り組みを世界に広げたいです」と語りました。

駐日インド共和国大使 福岡県議会を表敬訪問

9月20日（水）シビ・ジョージ駐日インド共和国大使が福岡県議会を表敬訪問され、香原勝司議長、佐々木允副議長、藏内勇夫福岡県国際交流推進議員連盟代表相談役（アジア獣医師会連合（FAVA）会長）と各会派代表者がお迎えしました。

会談の中で香原議長は「インドのデリー準州との友好提携を踏まえ、環境や教育等の分野で交流を続けており、今後つながりが一層深まるものと信じています。そのような中、現在、本県は人と動物の健康、そして環境の健全性は一つのものであるという理念でワンヘルス活動に取り組んでいます。是非インドでもワンヘルスの活動を支援していただきたい」と述べると、シビ大使は「ワンヘルスの理念は、インドがG20議長国として、一つの地球、一つの家族、一つの未来というテーマを掲げていることに非常に沿っている。SDGsにも沿った考えです」と賛同されました。



第50号

福岡県議会ホームページ
<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>



TOPIC 県内農林水産物を国内、そして世界へ！～福岡県ワンヘルス認証制度～



福岡県ではワンヘルスの実践が次世代の食と農につながることから、農林水産業におけるワンヘルスの取り組みを進めています。その一環として、ワンヘルスの理念に沿って生産される農林水産物等を認証する「福岡県ワンヘルス認証制度」を全国で初めて創設しました。これは、令和2年12月定例会の一般質問において藏内勇夫議員が、「ワンヘルス認証を行えば、福岡県の県産物を販売する際、あるいは海外に輸出する際、極めて高い安全性の評価を受けるのではないかと質し、それが実現したものです。現在、この福岡県ワンヘルス認証を取得した農林水産物等が徐々に増え、この秋、県内のイオン5店舗を含めた量販店等で認証農林水産物のフェアや、「ふくおか地産地消応援の店」のうち28店舗で認証農林水産物を使用した料理の提供を行うキャンペーンが開催されました。



福岡県ワンヘルス認証サイト

令和五年九月

定例会の概要

9月定例会は、9月8日に招集され、会期中に設置された決算特別委員会を含め、10月12日まで35日間の会期で審議が行われました。

開会日の冒頭には、議長が、本県などで発生した7月7日からの大雨による被害ならびに本県と姉妹提携を結んでいるハワイ州における8月8日に発生した山火事によりお亡くなりになられた方々に對し、哀悼の意を表するとともに、被害にあわれた皆さまにお見舞いの言葉を述べました。

今定例会には、令和5年梅雨前線豪雨災害の復旧・復興対策、安全・安心の確保、燃料費上昇分等への支援に要する経費のほか、地域活性化に必要な経費の令和5年度補正予算議案1件、条例議案6件、工事請負契約の締結に関する議案24件、経費負担に関する議案7件、人事に関する議案2件、計40件の議案が開会日に知事より提出されました。

さらに、「令和4年度福岡県一般会計決算」など決算関係議案20件が追加提出されました。

審議にあたっては、令和5年梅雨前線豪雨災害の復旧・復興対策、日田彦山線BRTを活用した地域振興、商工問題、農林水産物問題、教育問題など県政全般にわたり活発な論議が交わされました。

審議の結果、決算関係議案を除く40件について、いずれも原案のとおり可決または同意されました。

また、決算関係議案20件についても、決算特別委員会において熱心な議論が行われ、認定、または原案可決及び認定されました（6面に決算特別委員会の審査内容のまとめを掲載しております）。